

2019年度紙巻たばこ販売実績

会社から発表された。
江戸の歌舞伎役者である市
川團十郎は現在までに12代を
数え、屋号は成田屋。初代團
十郎（万治3年〔1660〕～
宝永元年〔1704〕）は14歳
で荒事（歌舞伎で、武士や鬼神
など荒々しさを誇張した演

(一七五八)は、荒事に和事(歌舞伎で柔弱な色男の恋愛描写を中心とした演技)を加えて洗練し、以後代々荒事をお家芸として活躍した。

市川家の当り芸を集めた「歌舞伎十八番」も制定している。その一方、二人の愛人と共に豪邸に住み、人気役者として豪奢な生活を過ごしていたため、天保の改革の風俗取締政策により江戸十里四方追放という处罚も受けている。

が、愛煙家でもあつたようで、今回紹介する「朱漆塗り瓢箪文透かしたばこ盆」ほか、愛用していたと伝えられる喫煙具を、たばこと塩の博物館では数点所蔵している。

前田への特注品であつたと考えられる。このたばこ盆は、劇場内の控室で使用されたのではないかと想像するが、当時の歌舞伎界における千両役者の自己顕示ぶりがうかがえる逸品である。

12月) 国内推計シェアは 60.4 % だが、ファミリー別では 「メビウス」が 30.2 % とトッ プブランドの地位を確保、「セ ブンスター」が 7.8 %、「ウイング トン」が 7.6 %、「ナチュラル アメリカン スピリット」が 2.0 % としている。

たばこ
25

七代目市川團十郎遺愛のたばこ盆

このように
話題豊富な七
代目團十郎ご

模様と
いる。市

歌舞伎座において、5月から7月の期間公演を予定していた「十三代目市川團十郎白猿襲名披露」だが、新型コロナウイルス感染症が拡大するのを防ぐため公演を延期した。坂田藤十郎と人気者であった坂田藤十郎と人気者である「二代目團十郎（元禄元年「1688」）」宝暦8年

も卓越した演技力を發揮した役者で、その芸域の広さは他の追随を許さず、さらに文筆や俳諧（「白猿」という号は、俳号でもある）にも才能を現し、天保3年（1832）には

「朱漆塗り瓢箪文透
(寸法:20.6×16.2×
こと塩の博物館蔵
め、以降市川家好みの
われている。これで「かま
わぬ」と読むのだが、七
代目が好んで用いたた
には「鎌の絵」と「○」
と「ぬ」の模様が描か

プレミアムメンソール・オプション・パープル・5』である。17銘柄がすべて前年割れの実績なのに、唯一、前年実績を17億本とし、ランクも17位か

JTなどが低価格帯ファミリー形成

のは、インペリアル・プランズ・ジャパンの「ウエスト」(2018年9月末まで380円・現400円=11銘柄)だった。現在の大手3社の市場参入状況をみると、JTの「キャメル・メンソール・ライト・ボックス」、「キャメル・ライト・ボックス」、「キャメル・ボックス」の3銘柄、BATJの「ラッキー・ストライク・エクスパート」(5銘柄)はそれぞれ400円の横並びだが、PMJが追随して去る2月に新発売した「フィリップモリス」(14・KSボックス、10・KSボックス、6・KSボックス、メンソール・8・KSボックス、メンソール・5・KSボックス)の5銘柄は、タール値の幅も5mg～14mg、しかも価格は先行2社より20円安い380円だ。市場参入時期は別にして、これで大手3社が出揃ったことになる。

3社ともリトルシガーと同様に「キャメル」「エーティー・スリーティー」「マリーベル」

買い求めやすい価格400円・380円

ス」という、自社の知名度のあるブランドのファミリーを形成しており、いずれもレギュラータイプ・メンソールタイプをラインアップしている。喫煙者は、味わいの深さや豊かさ、吸い応え、メンソールでは爽快感を選択基準にするものと思われるが、最終的には、価格以上の満足感を得ることができるかどうかが決め手となるようだ。お店にとっては、お客様の多様なニーズに応えながら、商品回転率を上げつつ利益確保に努めたいものだ。

なお、2019年度上位20銘柄の実績では、20位の「ケント・エス・シリーズ・1・100・ボックス」が440円、17位の「ウインストン・キャスター・ホワイト・5」と10位の「ウインストン・キャスター・ホワイト・ワン・100's・ボックス」が450円、11位の「ケント・1・100・ボックス」が460円である。